

ふくいで描く、 豊かなキャリア



県の学生就職支援制度が Uターンの後押しに

新しいシステム開発に
挑戦していきたいです

取材協力
三谷商事株式会社
情報システム事業部
北野さん

三谷商事株式会社でSE（システムエンジニア）として働く北野さんは、金沢の大学を卒業後、福井にUターンしました。「一度県外に出たことで、改めて福井の魅力を実感しました。自然が豊かで食べ物がいじで、何より人が温かい。居心地の良い福井が大好きでUターンを決めました」と話します。

また、県の支援もUターンの後押しとなりました。「Uターン奨学金返還支援制度により奨学金返還の負担が軽くなり、心にも余裕が生まれました。支援制度には、就活にかかる交通費のサポートもあります。私が就活をしていた頃はコロナ禍でオンライン中心でしたが、今は県内外でさまざまなイベントが開催されています。制度を活用して、積極的に参加してほしいですね」と就活生にエールを送ります。

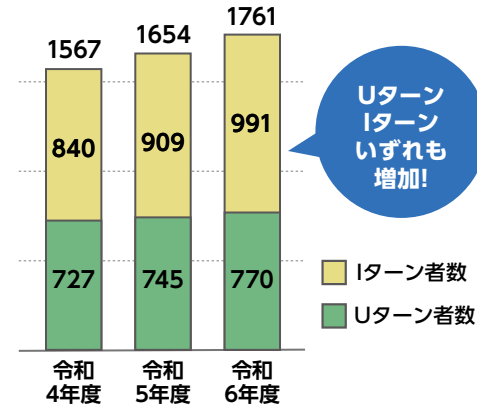
プライベートも思い切り
楽しむべし



入社5年目を迎えた現在は、企業向けのシステム構築に携わっています。「お客様と直接やり取りする機会も多く、パソコンのスキルだけでなく、コミュニケーション能力や提案力も身につきました。今後はさらに経験を積み、新しいシステム開発にも挑戦していきたいです」と語ります。

プライベートでは、音楽フェスに足を運んだり、仲間とギターを演奏したりと、趣味を満喫している北野さん。その晴れやかな表情からは、仕事も余暇も充実した福井での暮らしがうかがえます。

新卒Uターン就職者の推移

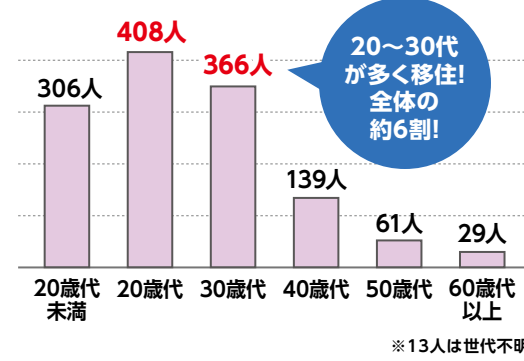


若者一人ひとりがどんなキャリアを描き、どこで働くかという選択は、福井のこれからを形づくっていきます。

進学や就職を機に、県外へと進路を広げる若者が多くいる一方で、福井へ戻り、働く道を選ぶ若者も増えています。令和6年度の新卒Uターン就職者数は770人で、3年連続で増加しました。また、Iターン者を含めたUターン就職者数は1,761人に上ります。

また、県や市町の支援を受けて移住した「新ふくい人」は、令和7年度には1,322人となりました。6年連続で1,000人を超えており、多くの人が福井を新たな暮らし

新ふくい人 年代別構成(令和7年度)



の場として選んでいます。

移住の中心は20～30代で、全体の約6割。さらに、三大都市圏（東京・大阪・名古屋）からの移住も増えており、仕事と生活のバランスや暮らしやすさを重視する傾向から、都市部から福井への関心の高まりがうかがえます。

こうした動きを後押しするため、県ではUターンや移住・定住を促進する支援制度をはじめ、さまざまな取り組みを展開しています。

県外で培った知識や経験を生かし、自分らしい働き方や暮らし方を実現できる場として、福井でキャリアを築く魅力が改めて注目されています。

県の取り組み

Uターン就職を考える学生に

交通費・宿泊費支援

福井県外の大学等に在籍する全学年の学生を対象に、福井県での就職活動にかかる交通費を補助します。県外出身の学生には宿泊費の補助もあります。



Uターン奨学金返還支援制度

福井で就職する、県外の大学等に進学した学生や県外出身の県内の大学等に通う学生を対象に、奨学金の返還を最大150万円支援します。

(対象業種: 製造業、建設業、情報通信業、農林水産業、医療・福祉・保育等)



「移住・定住促進枠」が
あることを知り、県職員採用試験
にチャレンジしました

人生の転機が、 福井で働く決断に

取材協力

福井県庁
河川課
近藤さん

福井県庁で働く近藤さんは、結婚を機に大阪から福井へUターンしました。パートナーが福井在住であったことに加え、将来のライフプランを考えたとき、福井で暮らすメリットを強く感じたと言います。

「福井の子育て環境は魅力的です。保育施設や子育て世帯への支援、相談窓口が整っており、出産後に仕事に復帰する際も、待機児童の心配をせずに済みます。また、私と夫の両親をはじめ、サポートしてくれる人たちがいることも安心材料でした」

こうしてUターンを決め、福井での新たな職を探し始めた近藤さんでしたが、大阪での仕事に追われ、転職活動はなかなか進みませんでした。焦りを感じる中、Uターン希望者を対象とした県職員の採用試験「移住・定住促進枠」を知ったこ

福井の子育て環境は
最高です！

とで道が開けました。

「働きながら受験しやすい内容だったのでチャレンジできました。移住・定住促進枠がなかったらあきらめていたと思います」

採用試験に合格した近藤さんは、晴れて県職員となり、観光誘客課（現観光政策課）に配属されました。その後、出産・育児休業を経て、現在は河川課で働いています。

「時短勤務など、子育てしながら働きやすい制度も活用し、仕事と家庭を両立できています。地域の方の雰囲気も温かく、屋内外の遊び場などに、親子で過ごしやすい場所が身近にあり、福井に戻ってきて本当によかったと感じています」と笑顔で語ります。



県の取り組み

県職員採用試験

秋に実施する下期試験では、学生や社会人対象の秋期募集（一般枠）のほか、県外で働く方も受験しやすい移住・定住促進枠や社会人枠等を設けています。

※7月下旬公表、8月中旬受付開始

詳細は
こちら↓



県の移住・定住支援制度

県では、移住支援金、交通費支援、お試しテレワーク利用支援制度等を設け、福井への移住・定住をサポートしています。移住情報をまとめたガイドブックも作成しました。

福井県移住
ガイドブック
はこちら↓

